

平成 24 (2012) 年度 東北大学法科大学院入学試験

試験科目：刑事法（刑法）

【設問】

以下の【事例】に挙げられた事実を基礎として、Xの罪責について答えなさい。

【事例】

1 12月15日午後10時頃、居酒屋Q（以下、Qとする）で友人Y（23歳・男性）と酒を飲んでいたX（23歳・男性・身長168cm・体重57kg）は、Xらの隣の席で一人で酒を飲んでいた、Qの常連でQ付近の薬局で薬剤師として働いているV（28歳・男性・身長178cm・体重78kg）と些細なことで口論となり、激しい罵りあいになった。XがVに対し、「こんな年末に一人で飲んでて楽しいのかよ。」と言ったところ、Vは「関係ねえだろ。」と言うや、いきなり、右手拳でXの左頬付近を殴打した。XはVに対し、「何するんだ、この野郎。」と言って、Vの胸ぐらをつかんだが、Qの店長AやYが、Xをなだめたため、その場は収まった。

2 その後、Vは、Aに促され、Xらと離れた席に移り、さらに酒を飲んでいたが、同日午後10時30分頃、Aに対し「そろそろ帰るわ。」と言って、勘定を済ませて、Qから出て行った。その様子を見たXは、Yに対して「あいつ、出て行きやがった。さっきの借りを返してくるわ。」と言うや、Vの後を追いかけてQを出て行った。

3 Xは、Qを出て、徒歩で帰宅しようとしていたVを見かけるや、背後からVに対して「おい待てよ。」と声をかけた。その声に戻ったVは、Xを見るや「何だ、さっきのお前か。」と言ったが、すぐに背を向けて、歩き始めたので、XはVの背中を右足で強く蹴った。背後からXに蹴られたVは、前のめりに体勢を崩したが、すぐに体勢を立て直し、Xの方に向き直るや、「痛いだろ、こら。」と言いながら、Xの顔面を右手拳で殴打した。Vは、顔面をおさえようずくまったXの腹部を右足で蹴りあげ、Xに対して、「さっきは、店の中だから、手加減して殴ってやったんだ。お前、俺のこと誰だか分かってんのか、覚悟しろよ。」と言った。XはVを「やくざ」ではないかと誤信して怖くなり、「どうもすみませんでした。」と言ったところ、Vがズボンの後ろポケットに手を入れたため、「刃物を出して、俺を刺すつもりだ。やらなければ、やられる。」と思い、たまたま護身用に持っていたナイフをズボンの後ろポケットから取り出しVの腹部めがけて、両手で強く1回突き刺した。その直後、XはVを残し、その場から立ち去ったが、Xらの様子を見ていた通行人Bが、Vがナイフで刺されたのを見るや、119番通報したため、間もなく救急車が現場に到着した。Vは到着した救急車で病院に搬送され、適切な処置を受けることができたため、腹部から大量の出血をしたものの、死亡するに

は至らなかった。

4 その後、XがVを刺したとき、Vのズボンの後ろポケットにナイフは入っておらず、Vがズボンの後ろポケットに手を入れたのは、そこに置いていた携帯電話を取り出そうとしたためであったこと、XがVをナイフで刺したとき、Xは無我夢中で、「ナイフで刺されたVが、どうなっても構わない。」と考えていたことが判明した。